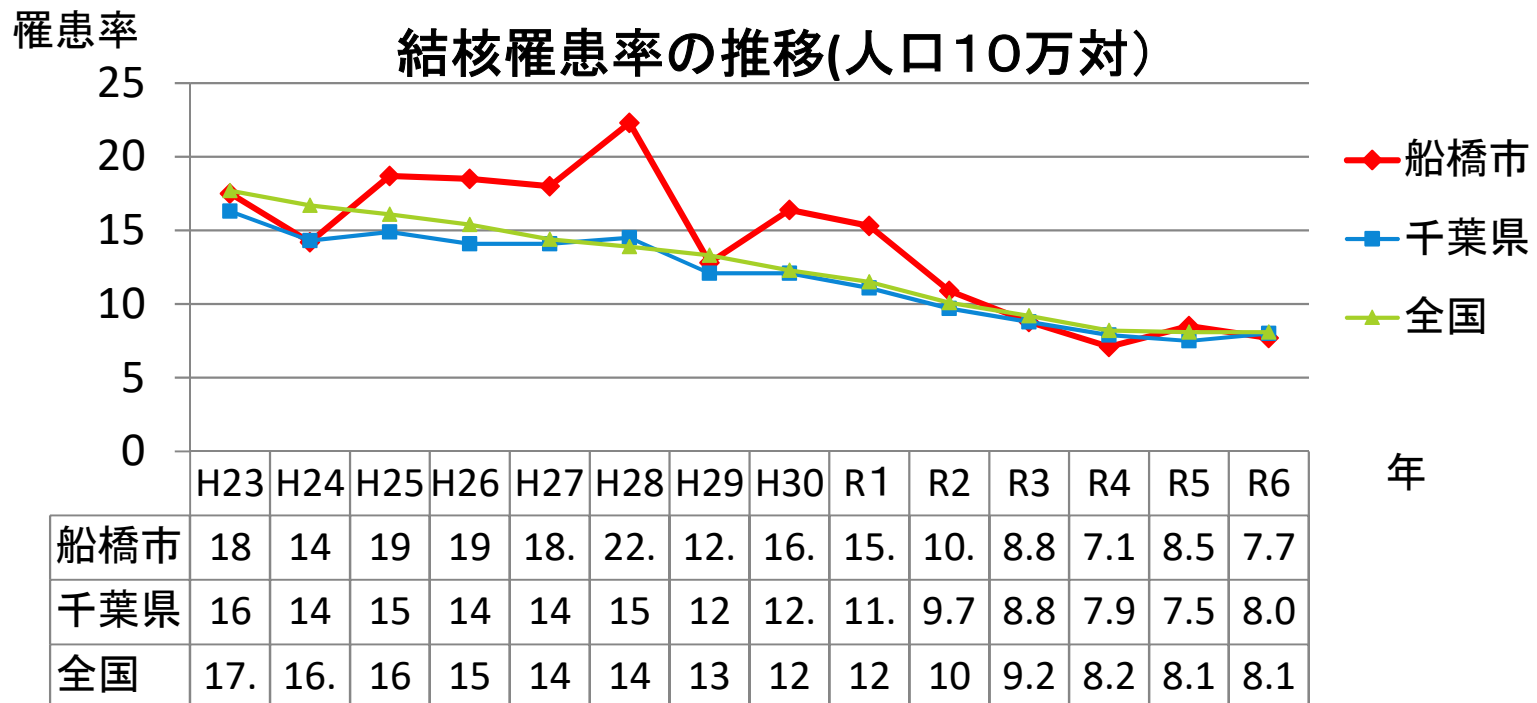


# I 感染症の発生状況について

健康危機対策課

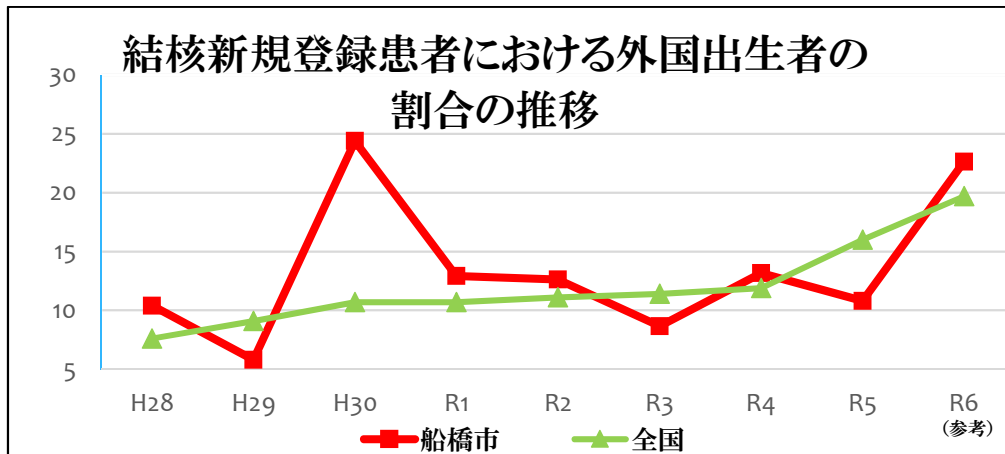
# 感染症の発生状況 (結核)

令和3年から日本の結核罹患率が10を下回り、「低まん延国」となった。日本の結核罹患率は、米国など他の先進国の水準に近づいているものの、船橋市の結核罹患率は令和5年に増加、令和6年に減少と、ほぼ横ばいとなっており、今後も引き続き、動向を注視する必要がある。



# 感染症の発生状況 (結核)

結核の新規登録患者における外国出生者の割合は平成30年に増加し、令和5年にかけて減少していたが、令和6年には再び増加。コロナ禍で低迷した国内外の活動活発化等の影響と考えられるが、これを受け、市民への啓発物である「結核情報」を外国出生者向けにも作成し、庁内外の関係機関や各施設へ配布。



令和7年11月発行

## 令和7年度ふなばし結核情報

～外国生まれの方・支援する方々へ～  
発行：船橋市保健所健康危機対策課 結核感染症係  
☎047-409-2867

ふなばし結核情報とは？  
船橋市の結核についての現状をお知らせし、結核感染の拡大を防ぐために、令和3年度より年1回冊子発行することとしました。

### 外国生まれの結核患者がふえています

#### 結核のよくある質問

**Q. どうやってうつるの？**  
A. 結核は空気です。結核菌をうつす状態の人が、せきやくしゃみをする時、菌が空気に出ます。それをすると、うつります。

**Q. 自分がうつったら、他の人にうつすの？**  
A. うつただけでは人にうつしません。元気なときは、体の免疫が結核菌をおさえています。でも、病弱などで免疫がよくなると結核を発病することがあります。ちりょうしないで、人にうつす危険が高まります。

**Q. 結核を治すためには？**  
A. 6か月から9か月のあいだ、毎日くすりを飲みます。くすりを忘れずに、決められた期間で飲み続けることができれば治ります。でも、くすりを途中でやめると、効かなくなることがあります。

**Q. 結核を治すためのお金は？**  
A. 市や国です。結核を治すためのお金を市や国がすしし出します。お金を出せるかどうかは、治し方によってちがいます。くわしくは、病院や保健所にきいてください。

**Q. 国に帰らないといけない？**  
A. いいえ。日本でも治せます。結核にかかったからといって、自分の国に帰らないといけない決まりはありません。もし、自分の国で治したいときは、保健所がお手伝いします。

**Q. 仕事はやめないとけない？**  
A. いいえ。仕事は続けられます。他の人にうつす時期は、仕事を休む必要があります。職場の人と話し合っ、仕事の内容を決めてください。

結核についてもっと知りたい人はこちら！  
下に書いてある言語で説明が見られます。

- Japanese
- Indonesian
- English
- Mongolian
- Chinese
- Portuguese
- Korean
- Tagalog

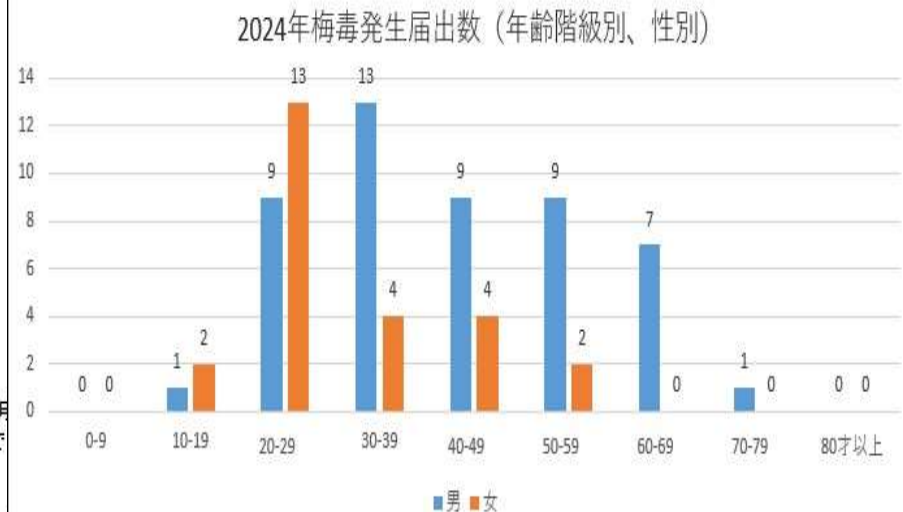
結核についてもっと知りたい人はこちら！  
「結核」で検索してください

結核の検査や治療費を無料にするための  
PCR検査受診券やうけつける人ジャーナル

# 感染症の発生状況 (梅毒の傾向)

- 届出数は全国的にも高水準が続いており、船橋市においても、近年は過去最高を毎年更新している。
- 年代は、男性が20代から60代にかけて多く、女性は20代が多い。
- 梅毒を合併した妊婦の届出もあり、先天梅毒(\*)報告も全国で増加。

\* 妊婦から胎盤を通じて胎児へ感染させ、死産や早産、新生児死亡、先天性の障害が起こることがある



# 梅毒の予防等

## 【予防】

- コンドームを適切に使用する。
- 心配があれば早めに検査を受け、医療機関を受診して早期治療を行う。
- 妊婦は妊婦健診で梅毒検査を受け、診断時には早期治療を行う。

## 【治療】

- 梅毒は、早期の適切な抗菌薬治療で完治が可能。
- 治療せずに放置すると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすため、症状がよくなっても自己判断で治療を中断しない。
- 感染している可能性がある周囲の方（パートナー等）も検査を受けて、必要に応じて治療を受ける。

# 梅毒を含む性感染症への取り組み

- 保健所では匿名無料で検査を実施。
- 梅毒の注意喚起のポスターを作成。医療機関、学校などの他、飲食店・旅館業に送付し、啓発を実施。また、希望のあった飲食店や医療機関に啓発用コンドームを配布。
- SNSなどを利用し、注意喚起を実施。
- 保健福祉センター1階や船橋市役所1階ロビー、ふなばし健康まつりにてパネル展示を実施。
- 市立看護専門学校文化祭、千葉ジェッツ船橋市民デーでの啓発活動を実施。



## 梅毒感染者が増加しています

2024年の梅毒発生届出数は過去10年で最も多い届出数でした。2025年に入っても届出数は多い状況が続いています。

梅毒は、性行為などで感染する病気です。

詳しくは→  
コロナ



感染の可能性がある周囲の方（パートナー等）も検査を受け、必要に応じて治療を受けることが重要です。  
心配な時はその都度早めに検査を受け、症状がある時は受診しましょう。

症状	感染すると、性器や口の中に小豆から指先くらいの大きさのしこりや痛みが少ないたれがでる。手のひらや足の裏など、体中に痛みやかゆみのない発疹が広がります。無症状の場合もありますが、感染力はあるため、梅毒を周囲の方（パートナー等）にうつさないよう注意が必要です。放置すると、心臓・血管・脳などに病変が生じ、障害が残る可能性があります。
予防	コンドームの適切な使用により、感染リスクを減らすことができます。100%予防できるわけではないので、コンドームを使っても症状が出たときは受診をしましょう。

●船橋市保健所では無料匿名のHIV検査に併せて梅毒検査、クラミジア検査を月2回実施しています

船橋市保健所  
健康危機対策課 結核感染症係  
047-409-2867



船橋市以外の検査実施場所についてはコロナから検索↓



検査当日の流れは裏面をご覧ください



# 感染症の発生状況 (レジオネラ死亡例)

- 令和7年10月にレジオネラ症の患者の死亡事例が報告され、感染予防と注意喚起のためプレス発表を実施。  
(市内では、令和4年以降3年ぶりの死亡事例報告)

